

新しい中野をつくる 10 年計画策定に係る財政運営の検討項目案について

○ 検討の視点、項目

1. 16 年度決算、17 年度予算の分析 …………… 4 月末～5 月中旬

(1) 各部予算流用状況の調査

- ・ 不用額の精査
- ・ 適正な予算見積

(2) 三位一体改革の影響額

- ・ 17 年度影響額の精査
- ・ 18 年度以降の影響額調査

(3) 人件費の状況調査

- ・ 再任用職員、任期付職員の活用
- ・ 時間外勤務手当、特殊勤務手当の見直し



区の財政体力の把握



2. 一般財源削減目標の設定【各部目標の設定、検討】 …………… 5 月中旬～6 月末

(1) 事務改善策

- ・ 委託化、民営化と直営の場合のコスト比較
※ ライフサイクルコスト把握
- ・ 契約方法の改善（全体方針策定）
- ・ 未収金対策（執行体制、方法の見直し）
- ・ 事務事業の見直し
- ・ 適正な受益者負担（使用料、手数料の見直し）

(2) 組織、職員定数の見直し

- ・ 職員数の削減、技能系職員の活用等
- ・ 再任用職員、任期付職員の活用（再掲）
- ・ 人件費の抑制（各種手当の見直し）



区政運営の構造改革



3. フレーム算定 …………… 7月上旬

- (1) 10か年のフレーム
- (2) 年次フレーム
- (3) 各部フレーム



10か年事業計画調整



4. 財政運営計画策定（10か年計画財政フレーム） …………… 10月上旬

- (1) 基金計画
 - ・ 財政調整基金への安定的な積立て
 - ・ 計画的な特定目的基金への積立て
- (2) 起債計画
 - ・ 計画的な起債の活用
 - ・ 適正な公債費率の維持
- (3) 施設修繕計画
- (4) 予算執行管理
 - ・ 歳入（区税、交付金、未収金管理）
 - ・ 歳出（執行管理）



10か年計画